

お話の学習指導案

教育目標

題名 ・ もぐらのしんろう

年齢 ・ ようじ (3~5さい)

主題 ・ もくひょう：じぶんのたいせつさとこせいについて、かんがえてみる。
・ しゅだい：じそんしん

キーワード ・ もぐら、いしぼとけ、けっこん

韓国文化 ・ もくひょう：いしぼとけについてきょうみをもつ。
・ ようそ：いしぼとけ

韓国語

- ・ もくひょう：たのしくおはなしをきいて、とうじょうじんぶつのなまえをいう。
- ・ たんご：두더지 (もぐら)、해 (たいよう)、바람 (かぜ)、돌미륵 (いしぼとけ)
- ・ ひょうげん：
두더지 부부는 해님을 찾아갔어요.
(もぐらのふうふはおひさまをたずねていきました。)



口演 活動内容



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、こんにちは！
みなさん、こんにちは。わたしはみなさんにたのしいお話を‘○○○’、
うつくしいお話のおばあちゃんです。



題名 を教える

きょう、おばあちゃんがするおはなしは、タイトル、さっさとでてこい！
"もぐらのしんろう"です。
おばあちゃんがクイズをじゅんびしました。いっかい、あててみましょうか？わ
たしはどうぶつです。わたしはつちのなかにあなをほり、はいってくらします。く
ちがほそながくて、はがとがっています。わたしはだれでしょう？そうですね。も
ぐらです。もぐらはつちのなかでよこあなをつくってせいかつし、みみずやちい
さいむしをたべてくらします。きょうはもぐらのふうふがむすめのもぐらのしんろ
うをさがすおはなしです。どんなしんろうがくるのか、おはなしをきいてみましょ
うか。



お話の始まりの歌を歌う

"もぐらのしんろう"のおはなしのなかへ、しゅっぱつ！
♪ いち にい さん し！ お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきい
てみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～

口演 活動内容



お話を聞かせる

むかしむかし、とあるつちのなかに、もぐらのふうふがすんでいました。あるひ、もぐらのふうふはかわいいこどもをうみました。もぐらパパともぐらママは、とてもたいせつにむすめのもぐらをそだてました。じかんがすぎて、むすめのもぐらはつちをよくほる、すてきなおじょうさんになりました。

あるひ、もぐらママがもぐらパパにいいました。

“あなた、わたしのむすめがけっこんするときがきたようです。”

“わたしのむすめはせかいでいちばんすてきだから、よわいもぐらとけっこんできない。いちばんちからがつよい、しんろうをさがさなければいけない。おひさまがせかいじゅうをあかあかとてらすから、いちばんちからがつよくないか?”

もぐらパパがいいました。もぐらママはうなずきました。

もぐらのふうふはそらのたいようをたずねていきました。

“せかいでいちばんちからがつよいおひさま!わたしのむすめとけっこんしてください。”

もぐらパパがいいました。そしたらおひさまがくびをよこにふり、へんじをしました。

“わたしはせかいじゅうをてらして、すべてのものをそだてるでしょう。しかし、くもがわたしをかくすと、ひかりをだすことはできません。だから、くもがわたしよりちからがつよいでしょう。”

きいてみると、たいようのはなしがあっているようでした。もぐらのふうふはまっすぐにくもをたずねていきました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“おひさまよりもっとちからがつよい、くもさま!わたしのむすめとけっこんしてください。”

もぐらママがいました。そしたらくもがくびをよこにふり、へんじをしました。

“わたしはおひさまをかくして、せかいじゅうをくらくすることができます。しかし、かぜがわたしをとばしてしまえば、たいようをかくせません。そのため、かぜがわたしよりもっとちからがつよいでしょう。”

きいてみれば、くものはなしがっているようでした。もぐらのふうふはまっすぐにかぜをたずねていきました。

“おひさまより、くもさまより、もっとちからがつよい、かぜさま!わたしのむすめとけっこんしてください。”

もぐらママがいました。そしたらかぜがくびをよこにふり、へんじをしました。

“わたしはせかいをくらくするくもをとばして、すべてのものをたおすことができます。しかし、そこののはらのちょうどまんなかになっっている、いしぼとけだけはぜったいにたおすことができません。そのため、いしぼとけはわたしよりもちからがつよいです。”

きいてみると、かぜのはなしがっているようでした。もぐらのふうふはまっすぐにいしぼとけをたずねにいきました。

“せかいでいちばんちからがつよいおひさまより、くもさまより、かぜさまより、もっとちからがつよいいしぼとけさま!わたしのむすめとけっこんしてください。”

口演 活動内容



お話を聞かせる

もぐらパパがいました。そしたら、いしぼとけはくびをいやいやとふり、いました。

“わたしはせんねんがすぎても、めげずにたっていることができます。しかし、あしもとにくらすもぐらがつちをほったら、なすすべもなく、たおれてしまいます!だから、もぐらがせかいでいちばんちからがつよいでしょう。”

いしぼとけのことばをきいたもぐらパパは、とてもおどろきました。

“もぐらだと?わたしたちもぐらがおひさまより、くもさまより、かぜさまより、いしぼとけさまより、もっとちからがつよいということですか?”

“そのとおりですね。”

いしぼとけのことばをきいたもぐらのふうふは、よろこんでいえにかえりました。

“おまえ、わたしたちもぐらがせかいでいちばんちからがつよいということだ。すてきなわたしたちのむすめはちからのつよい、もぐらとけっこんしたらいいなあ。”

“パパ、わたしはいえのちかくにすむ、まだけっこんしていないもぐらとけっこんしたいです。”

むすめのもぐらはにっこりとわらい、へんじをしました。

ついにもぐらのふうふは、せかいでいちばんちからがつよい、しんろうをさがしました。まさにけっこんしていないもぐらでした!もぐらのむすめは、けっこんしていないもぐらとけっこんし、しあわせにすえながくくらししました。

口演 活動内容



韓国文化, 韓国語を紹介する

みなさん、おばあちゃんがしたおはなしをよくききましたか？

もぐらのふうふはちからがつよい、しんろうをさがしにいきました。だれにあったか、いってみましようか？そうですね。おひさまをさがしにいきました。くももかぜも、いしぼとけもさがしにいきました。

みなさん、もぐらはいちばんちからがつよいのだと、だれがおしえてくれましたか？

そうですね。いしぼとけです。みろくはほとけさまのなまえです。ひとのようによえます。むかしのひとびとは、みろくがおねがいをきいてくれるとかんがえました。いしぼとけはまさにいしでつくられたほとけぞうです。いまもによっきりたつ、おおきないしぼとけをあちこちでみることができます。

いしぼとけにきょうみがあるおともだちは、‘どらんどらん お話ホームページ’でくわしいないようをしらべてみてね！

口演 活動内容



お話を整理する

みなさん、もうおしまいのじかんです。"もぐらのしんろう"のおはなし、たのしかったですか？

もぐらのふうふはせかいでいちばんちからがつよい、とくべつなしんろうをさがしたかったのです。ついにさがしたしんろうは、けっこんしていないもぐらでした。ちいさいもぐらがとくべつでたいせつなように、わたしたちみんながたいせつで、とくべつです。みなさんもじぶんとしゅういのひとびとをたいせつにおもって、いっしゅうかんをすごしてくださいね。きょういえにいて、かぞくたちをだいて、"だいすき!"といってくださいね。



お話のあとのうたをうたう

そしたら、お話のおわりのうたをいっしょにうたいながら、おばあちゃんとあいさつします。お話のおわりのうた、はじまり！

♪ いち にい さん し！お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、ごあいさつ！

みなさん、つぎのうつくしいお話のおばあちゃんであいましょう。
さようなら！